

## 秋田市内でのリュウキュウムラサキの観察例

梅津 一史\*

An observation record of *Hypolimnas bolina* in Akita City, Akita Prefecture.

Kazushi Umetsu

*Hypolimnas bolina* (Linnaeus, 1758) リュウキュウムラサキは、「日本産蝶類標準図鑑（白水，2006）」によれば，東洋熱帯に分布するが琉球列島を含めた国内では定着していないと考えられている。沖縄で最も多く採集され，北上するにつれて発見例は少なくなるものの，最北の記録は北海道に達するという。

秋田県では，2013年に八峰町での観察例が県内初記録として報告されており（田中，2013），今回が2例目の報告となる。

2015年9月に，博物館宛てに本種の目撃情報がメールでもたらされた。採集はしていないとのことであったが，写真や動画が撮影されており，有用な情報であると考えられたので，観察された方の了解を得て，報告するものである。

以下は，目撃されたご本人からいただいた情報である。

### 目撃データ

秋田市土崎港東2丁目 自宅の庭

2015年9月8日 8:10～8:17（写真を撮った時間）

天候 曇り

撮影者 伊藤ツト虫

撮影時やその前後の状況

最初に見かけたときは、庭のサルスベリ（40年以上の大木）の花の間をゆっくり飛んでいた。フェンスやごみ箱や荷物運搬用の一輪車にとまり翅を広げていた。また，ブットレアの花の蜜を吸っていた。1 m以内に近づいても逃げなかった。撮影してから30分後には，庭から消えていた。



この個体は，斑紋からメスと見られ，後翅外縁の白色斑が発達している点は大陸亜種 *jacintha* の特徴に一致する。しかし，最近是国内での二次発生も多いことから，この個体がどこから飛来したものは推測し難い。

報告に当たり，情報を博物館にお寄せいただき，画像や観察データを提供し発表を許していただいた伊藤ツト虫氏（秋田市）に心より感謝を申し上げます。

### 引用文献

白水隆，2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社. 東京.  
田中政行，2013. 八峰町でリュウキュウムラサキを確認. 秋田自然史研究. 64: 27.